

神話スライド s e t シリーズ

# オリオン座

スライド枚数 : 11枚  
時間 : およそ5分  
イラスト : 高部 哲也  
※ 音響テープあり

**LIBRA** CORPORATION



1. オリオンは、海の神ポセイドンを父とし、  
女人国アマゾンの女王エウリアレーを母として  
生まれました。  
そんな彼は成人すると、父からは  
海の上でも中でも、自由に歩き回れる力を授かり、  
母からは、勇敢 さを受け継いだ、立派な狩人とな  
りました。



2. ある時、オリオンは、森の中でひとりの狩人に  
出会います。  
女性でありながら、微動だにせず弓を引き絞る  
その姿。  
その凛とした美しさに、オリオンはたちまち心を  
奪われます。  
この狩人こそが、月と狩りの女神アルテミス、  
その人だったのです。

+音変わり



3. その日からしばしば、森の中で連れ立って狩りを  
する二人の姿が見 られるようになりました。  
そして、やがて二人は、神と人間という立場の違  
いを乗り越えた仲むつまじい恋人同士となったの  
です。



4. しかし、それをおもしろく思わなかったのがアルテミスの兄、アポロン。  
気高い神である妹が、いくら腕の立つ狩人とはいえ、人間ふぜいのオリオンと愛し合うなんて、許せることではありません。  
そして、ある恐ろしい計画を思いついたのです。

+音変わり



5. その日、オリオンはいつものように頭だけ出して海の中を散歩して いました。



6. アポロンは、その姿が充分小さくなると、オリオンの頭に金色の光を浴びせておいて、妹を海辺に呼び出しました。



7. そして、  
「いくらおまえでも、あの遠くに見える光る物を、弓で射ることは 出来まい？」  
と試すように言ったのです。  
負けず嫌いのアルテミスのこと、こういわれては黙っているわけには行きません。

「そんなの簡単だわ！」  
というが早いか、弓矢を放ちました。

SE ヒュン



8. 矢は見事に命中し、光る物は 波間に消えていったのです。

+音変わり



9. 翌日、アルテミスは、恋人に刺さった自分の矢を見て、アポロンのたくらみに気づきます。

自分の愚かさを嘆いたアルテミスは、なんとかオリオンを生き返らせてもらうよう、神々の王ゼウス に、頼みました。

しかし、失った命をよみがえらせることは許されません。



10. それならせめて、自分が月の馬車 に乗り、夜空を駆けめぐるとき、いつもオリオンの姿を見ることが 出来るようにと、その姿を星座にして、天にあげてもらったのです。

+音終わり